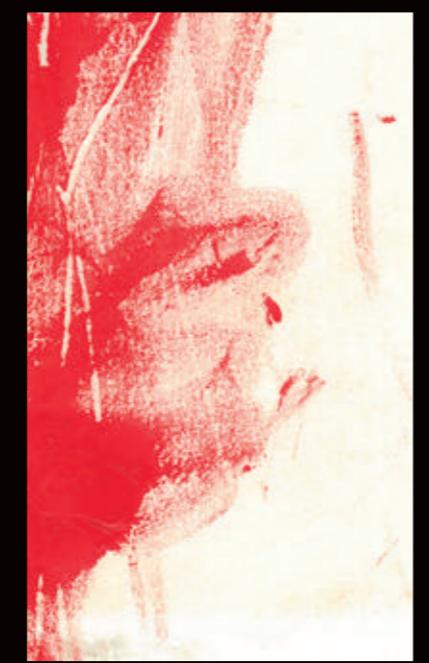
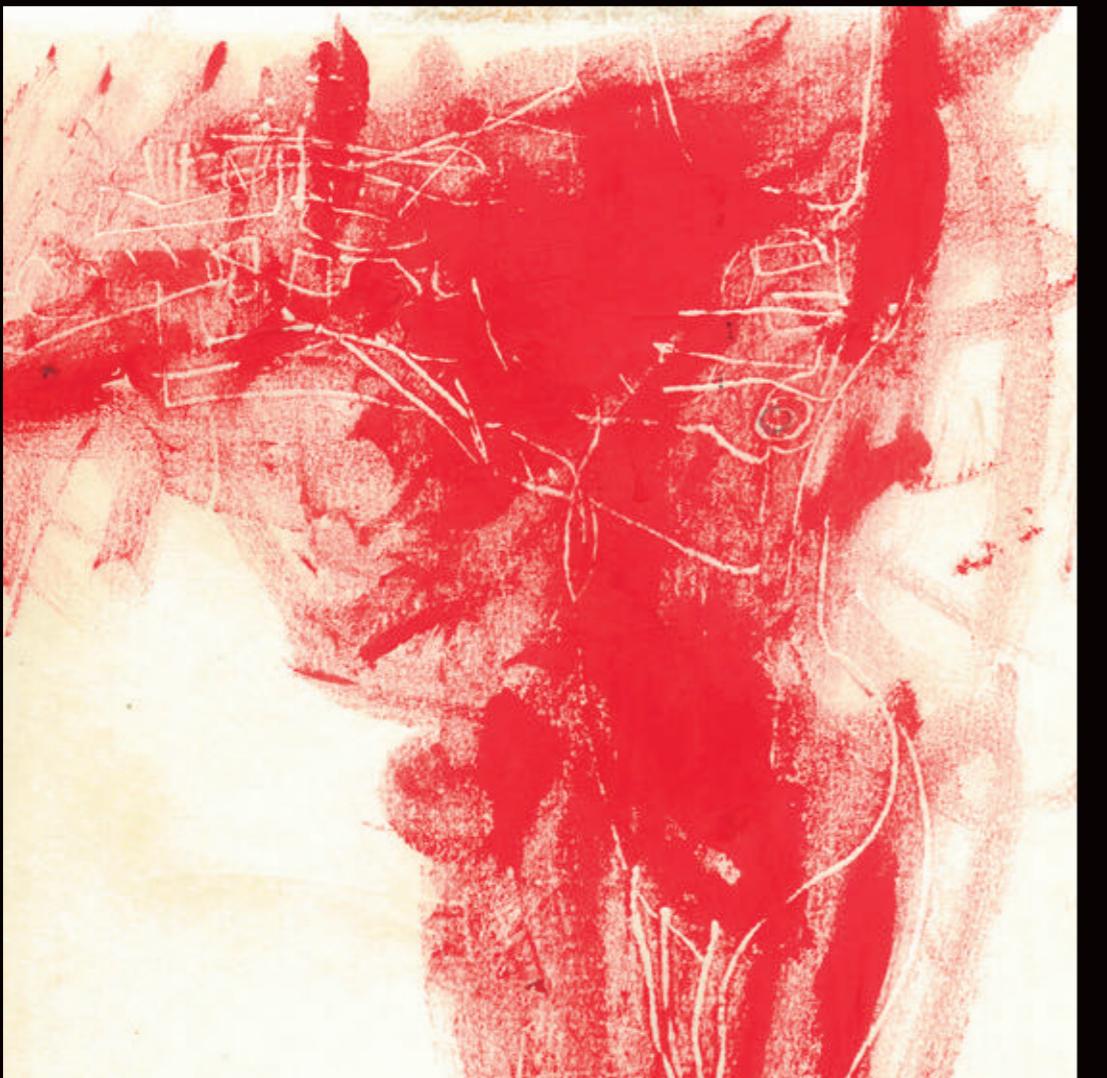


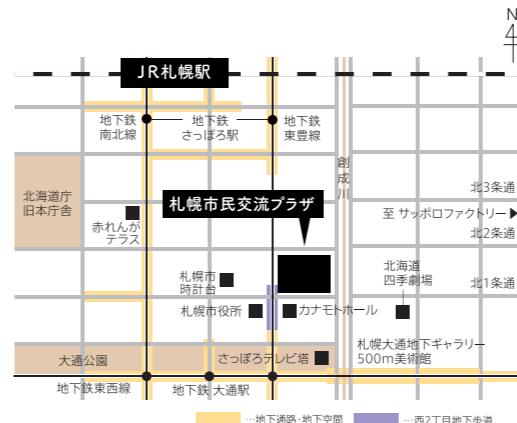
WAVE TIMES

札幌市民交流プラザ 情報誌 [特別号]



札幌市民交流プラザ

SAPPORO COMMUNITY PLAZA



地下鉄「大通」駅直結!

札幌市中央区北1条西1丁目 さっぽろ創世スクエア

WAVE TIMES

「WAVE TIMES（ウェーブタイムズ）」は、「札幌市民交流プラザ」のトピックスや公演・イベント情報などを発信している冊子です。

札幌市民交流プラザ 情報誌 特別号 発行 2019年10月1日
発行元

公益財団法人 札幌市芸術文化財団 札幌市民交流プラザ

〒060-0001

札幌市中央区北1条西1丁目

TEL:011-271-1000 (9:00-22:00 ※休館日を除く)

◎本誌からの写真・文などの無断転載を禁じます



札幌市民交流プラザ



<https://sapporo-community-plaza.jp>



札幌文化芸術劇場 hitaru オフィシャルスポンサー



KINOTOYA

mori-mai
MITSUKOSHI

trans
cosmos

北央病院

AEON
イオン北海道株式会社

co-op 共済

札幌田中病院

TAIYO GROUP

BUBU

Hokkaido
モントレ札幌
モントレールホフ札幌

3.14

あいプラン、MORIHICO.、伊藤組土建、岩倉建設、岩田地崎建設、大通り矯正歯科、ボルボ・カーア札幌、札幌駅前通まちづくり会社、札幌大谷学園、札幌大通まちづくり会社、札幌市交通局、札幌振興公社、札幌都市開発公社、サッポロホールディングス、ANAクラウンプラザホテル札幌、札幌マタニティ・ウインズホスピタル、ジェイ・アール北海道バス、敷島屋、じょうてつ、ANA、大和証券、さっぽろ東急百貨店、日本航空、富士メガネ、北海道エアシステム、北海道科学大学、北海道中央バス、北海道電気保安協会、丸彦渡辺建設、三井不動産リアルティ札幌、よつ葉乳業、北海道ガス、倉澤高圧コンクリート、旭イノベックス、遠藤興産、SAPICA、三精テクノロジーズ、大成建設、大丸札幌店、どんぐり、日建設計、北海道グリーンメンテナンス、豊建商、氏家記念ごどもクリニック、岡本内科クリニック、クリーンアップ、ホクリヨウ、北洋銀行、北海道銀行、朝日新聞社、阿部小児科医院、アムテック、アルシス、石狩すずらん内科、岩本・佐藤法律事務所、ウエス、AIRDO、おおしま内科脳腸科クリニック、柿崎歯科、河上水産、TAT札幌、グリーンネットワークス、ケープラス・ロジ、札幌商工会議所、ジャパンテクニカルソフトウェア、サツイベ、しんどう医院、すずらん乗馬クラブ、蘇春堂形成外科、タイムズ24、みよしの、なんごう耳鼻咽喉科、ニューオータニイン札幌、ネクステップ、福住泌尿器クリニック、北海道熱供給公社、北海道マツダ、ほりい・綜合法律事務所、マウントアライ、明治安田生命、山二、ゆうらく、リビングワーク、六書堂、和らいふ、北海道放送、札幌テレビ放送、北海道文化放送、テレビ北海道

札幌の文化・芸術の

SPECIAL INTERVIEW

—森崎さんは開館後、「TEAM NACS」の舞台音楽を演奏するオーケストラ「ハサード」で、札幌文化芸術劇場「hitaru」の舞台上に立たれました。まずはそのときの感想をお聞かせいただけますか？

僕は演劇をやっていますから、開館前から「いつかTEAM NACSの人々がhitaruのステージに立ちたい」という思いをずっと抱いていました。そんな中、NACSを代表して僕が出演する「NACS SYMPHONY 2019」という公演があったおかげで、意外と早く舞台に立ちちゃったな、というのが正直な感想です。何より「TEAM NACS」の舞台を彩る音楽を手掛けてくれて、「NAOTOさんといふ素晴らしい友達を紹介したいと企画したこと」がうれしかったです。

拍手や笑いや歓声が上から降り注いでくる新鮮な体験をしました。

—これまで立たれた舞台と何か違いを感じましたか？

もちろんです。僕たち演劇人にとって、札幌にこんな素晴らしいホールができることは「すばらしい時代の幕開けが来たぞー！」というくらい大きなニュース。それだけでもう快感物質がいっぱい出てくる感じでした。それに実際に立つと、4階ま



新たなる幕開けを

感じます！

札幌市民交流プラザは2019年10月7日、開館から1周年を迎えます。オペラ「アイーダ」を皮切りに、バレエやミュージカル、音楽コンサート、演劇、ダンス、講演会など、さまざまな催しが行われてきた札幌市民交流プラザについての印象や思いを、施設利用者を代表して演劇ユニット「TEAM NACS」のリーダー、森崎博之さんに聞きました。

TEAM NACS リーダー

森崎博之

でそびえ立つ観客席からの熱量や圧迫感がものすごい！これまで観客が横に広がることはあっても縦に広がることはありませんでしたから、拍手や笑い、歓声が厚みを持って上から降り注いでくるのが新鮮で、珍しい体験をさせてもらいました。音についても1階席と3階席でハサルを聞いたのですが、とにかく素晴らしい！詳しいことは分からないですけど、音の良さに感動しました。

—舞台では演奏に合わせて過去に演じた複数のキャラクターで登場し、太鼓も披露されました。

「七変化」は自分で提案したんですが、思った以上に大変でしたね。太鼓も「HONOR」という舞台で叩いたことがあったから軽々しく「やるうかな」なんて言つたけど、とにかく不安で…。「HONOR」ではTEAM NACS全員で叩いたので気がつきませんでしたが、みんなやつらでも一緒に居てほしくなりました(笑)。

—ト、ホールでは指揮にも挑戦されました。

TEAM NACSにかかるイベントなのに、NAOTOさんにはかりお任せしてしまって、いるのが恥ずかしくて、「自分も何かできないか」と考えた結果、中学時代に合唱「ハクール」で指揮者をやつたまんですから、オーケストラの指揮ならできるんじゃないかなと。約35年ぶりにタクトを振りました。いやー、合唱「ハクール」とはワケが違いましたよ。でも、超一流のプレイヤーの皆さんと相手にタクトを振るなんて、そうそうできることがありませんから、なんて贅沢なんだろうと優越感に hitaru(笑)」とがきました(笑)。

—森崎さんは他に、札幌市教育委員会が主催する子育ての講演会でも講師としても舞

台に立たれました。

あんなに早く二回田が来るのは思つてなかったので、びっくりしました。しかも、たくさんの親子に参加いただき、子育ての育児論を90分間も展開させていただくなんて…。歌わなければ、音楽もない。劇場を設計した人も「オペラの劇場で、育児の講演?」って驚いたと思いますよ。自分でも本業が分からなくなりました(笑)。

—森崎さんは開館前にも舞台上に立たれてい

ますよね?

え?…そうですね…よく「存知で…」(笑)。北海道テレビの「ハナタレナックス」という番組で、札幌市民交流プラザが入っているさっぽろ創世スクエアに放送局ができるところと、オープ

ン前の劇場の舞台に立たせていただきました。

—それで、あることをされたと伺っています。その話、しますか?「変なことできませんねえ…。実は、どれだけ音が良いのかを確かめようと僕だけ舞台上に残り、大泉洋ら他の4人に4階席に行つてもらつたのですが、そこで「タクシ、オナラをしちゃいまして…。その音が、4階席までしっかりと届き、「どんだけ音響設備がいい舞台なんだ!」ってみんなで驚いたっていうことがあります(笑)。

—TEAM NACSのメンバーとは、劇場について他にどんなことを話されたのですか?

それはもう、「やるTEAM NACSで立ちたい!」といふ話をしました。僕たちはあくまでも北海道を本拠地に、北海道という看板を背負つて演劇活動を続ける演劇ユニットですから、その北海道にこんなに素晴らしいホールができるのであれば、ぜひ立ちたい。札幌文化芸術劇場 hitaruは、TEAM NACSの夢ですね。



—森崎さん自身は札幌文化芸術劇場 hitaru をどのよつた存在に感じていますか?

TEAM NACSとしてはまだ立つていませんが、北海道札幌の劇場というだけでホームのように感じています。僕は北海道に演劇文化を根付かせたいという飽くなき挑戦としてTEAM NACSを続けていて、そこには何人呼びたい、口へグラン公演をやりたいといった目標はもうないんです。大規模な全国公演や海外公演をやりたいという野望もなくて、唯一の欲はとにかく長く続けたい、ということだけ。実はTEAM NACSって、最年少の音尾琢真が80歳になる2056年に解散しますって、公言しているんです。それまで良いときもあれば悪いときもあるし、喧嘩をするい



森崎博之 ●1971年11月14日生まれ、北海道東川町出身。0型。1996年、北海学園大学演劇研究会出身の大泉洋、安田顕、戸次重幸、音尾琢真と演劇ユニット「TEAM NACS」を結成。リーダーを務め、多くの作品の脚本・演出を手掛ける。TEAM NACSの全国進出に伴い、「下町ロケット」(TBS系)はじめとする連続ドラマや映画、全国ネットのバラエティ番組にも出演。ごはんソムリエの資格を持ち、食育の大切さ、北海道の素晴らしさを講演会などでも発信している。

市民のことを考えた 素晴らしい施設などを 伝えたいきたいです。

「ハル」で大学生のとき勉強したかったなあ

を迎えながらも長く続けるのって、非常に到達困難な目標でもあるんです。その目標を存続し、達成させるためにも、こうした素晴らしいホールが誕生したことに刺激を受けましたし、そこに立ちたい、立ち続けたいと思わせてもらえる場所ができたことに感謝しています。

—TEAM NACSが公演をするならどんな舞台を届けたいですか?

客席に高低差があり、立体的な劇場ですから、高さのある舞台をやってみたいですね。舞台に4階建てのセットを組んで、客席と同じ高さで繰り広げられる芝居。「ドリフは2階建てでしたが、ナックスは2倍の4階建てで(笑)。

—開館から1年が経ちましたが、これからはどんなことを期待されますか?

実は札幌市民交流プラザには「ハイベートでも来ていく特に「モモイロの箱」という謎解きのイベントが素晴らしいですね。子どもと一緒に参加したのですが、市民交流プラザを上から下まで、全部歩き回らないと解けない謎になつて、そのおかげで施設のことをよく知ることができました。「ここにこんなスペースあるんだ



HIROYUKI MORISAKI
SPECIAL INTERVIEW

TEAM NACSでは まだ立っていませんが、 札幌文化芸術劇場 hitaruは ホームだと感じています。

Review

Turandot / Giacomo PUCCINI

「トウーランドット」

鑑賞レビュー

音楽ジャーナリスト・評論家 林田直樹

8月3日、4日に札幌文化芸術劇場 hitaru で上演された「トウーランドット」は、イタリアの大作曲家プッチー(1858-1924)の人生最後の傑作というだけではない。人類初の大量殺戮戦争でもあった第一次世界大戦という非人間的な出来事のあとの文化状況において、プッチーが新機軸として世に問いかけようとしていた、オペラ史に残る問題作である。



させた。静かなシーンでさえ、大群衆の奥行きのある動きと存在感が、オペラ全体にドラマティックな脈動感を作り出していた。

今回の上演で最も物議を醸したのが、ラストシーンである。このオペラは、作曲者の死によって未完に終わり、他の作曲家の補筆によって完成されているが、台本 자체は愛の成就によるハッピーエンドとして完成していた。しかし今回の演出では、突然トウーランドットが最後の大団円の幕切れの瞬間に自刃してしまう。こんな衝撃のどんどん返しは、従来のこのオペラの上演ではまったくなかつたので、札幌でも、唖然としているお客さんの姿があちこちに見られた。

Aキャストのトゥーランドット、イレーネ・テオリーはラストシーンに向かうかなり前、カラフとの口づけのあたりから、精神的な不安と葛藤がじわじわと高まっていくのが見て取れたが、Bキャストのバーニア・ウィルソンは鉄のように意志強固な佇まいで、最後まで断固としていた。

Aキャストのリュー、中村恵理は歌の頂点に立たせた。Bキャストのリュー、砂川涼子は体当たり的な情熱を前面に出し、意志の強い愛に燃えるヒロインを感じさせた。

合唱も素晴らしかった。一人ひとりの歌や演技の向こうで、語られる背景の奥深さを感じ

可能性の素晴らしいと称えるとともに、今後オペラの上演も定期的に重ねていき、「響きを劇場に吸い込ませていく」と、やるに音響も良くなつていいに違いないし、そのためには自分もぜひまたここに来れたら、という」と言えるだろう。オペラの上演は、

博物館の展示品とは根本的に違う。昔の名作であっても、現代に生きたパフォーミング・アートとして蘇らせ、観客の人生を根底から搖るがせるもつた、深い問い合わせを作る」と、それが肝要である。それが本当のオペラである。



巨大建造物に囲まれた、希望のない谷底のような舞台。貧困にあえぎながら、「めく群衆の上に、威圧的で巨大な要塞のような黒い物体が降りてきて、そこから白く輝く皇帝とトウーランドット姫が現れる。そのスペクタクルの凄みは、東京での上演と全く変わりないクオリティで、札幌でも再現されていた。

興味深かつたのは、2日間のキャストによる違いである。

そこで、バルセロナ交響楽団について日本は強烈な印象を与え、何かを残したはずである。彼らは札幌でも本当に楽しそうに、精力的に、エキサイトしながら、オノモオノも楽しんでいた。今回の「トウーランドット」は、NHKでも放映され、日本中の音楽ファンや文化関係者に衝撃を与えた、議論のきっかけとなりうる名舞台となつた。その最終公演が札幌でおこなわれたことの意義は計り知れない。今後も、このクラスのオペラ公演が札幌で継続的に楽しめるようになつてこそ、札幌文化芸術劇場 hitaru の真価は生かされるに違いない。

いつか針生先生と
Wキャスト共演
するのが夢

オペラが紡ぐ 札幌の未来

対談「アンダースタディ」

針生美智子 × 中江早希

オペラ歌手は
コミュニケーション
能力も大切



Michiko Hariu



Saki Nakae

札幌文化芸術劇場 hitaruの昨年のこけら落とし作品『アイーダ』で巫女を演じた針生美智子さんと、今年8月公演の『トゥーランドット』でリュー役のアンダースタディを務めた中江早希さんは、ともに北海道出身。師弟関係の2人に、アンダースタディと札幌のオペラシーンのこれからについて、語り合っていただきました。

中江 北海道教育大学岩見沢校に通っていた時に、針生先生のコサートで『魔笛』の夜の女王のアリアを聴いて感動し、「すごい!」と衝撃を受けました。ちょうど教員の道に進むか声楽の勉強を続けるべきか進路を迷っていましたが、先生の歌声に憧れを抱き、思い切って「連絡したところ、無事にレッスンを受けさせていただく事ができました。

針生 私は初めて中江さんの声を聴いた時に「ああ、これは百年に一人の逸材だ」と。

生まれながらに美しい高音が出る人がいると聞いた事がありますが、これがまさにそうだ、と思いました。それで東京への進学を勧めたんです。

「アンダースタディ」という立場

針生 中江さんは『トゥーランドット』でアンダースタディ（以下、「アンダー」）を務められました。キャストの不慮の事故に備える代役のカバーキャスト（以下、「カバー」）が用意されることが多いけれど、勉強のために参加してほぼ歌うことのないアンダーは、募集も少ないですね。実はアンダーやカバーって、現場に入るだけで緊張するし、心細いでしょう。

中江 皆さん素晴らしい方々でしたので、その場にいるだけで緊張しました。

針生 アンダー、カバーはひたすら現場で勉強ですね。初めて歌うオペラでも音楽稽

りと、私自身驚くような貴重な体験ができたことがとてもありがたかったです。」「これまで手厚くサポートしていただいた申し訳なと思いました。

針生 アンダーは若手が経験する貴重な機会ですが、現場での身の置きどころは、なかなか難しいですよね。特に幾つかのプロダクションが重なっている時は、中江さんの朗らかで誠実なお人柄は、周りの方々に受け入れられたと思います。しかも既に大きな舞台も踏んでいる。舞台を一緒にしているキャストの方々も多数いらしたと思います。その中江さんがアンダーとして hitaru から『トゥーランドット』に参加したということは、同郷としてとてもうれしいですし、北海道の力を感じます。

中江 自分からキャストに質問したり、出演するプレイベントについて発信したり、次

古ができる状態で、数回のコレベティートルによる稽古、そしてカバーの一度の立ち稽古で、すべての動きを身体と頭に入れなければならぬ。見て覚えるのと実際に動くのでは違うこともたくさんあり、常に張り詰めた緊張感があります。

中江 先生のおっしゃるとおりで、この公演に携わる全員が、舞台をより良いものにしようと真剣に作品に向かい合う稽古場の雰囲気の緊張感は今でも忘れられません。

本番のパフォーマンスをただ鑑賞するだけでも

なく、その制作過程である稽古から見学することができるはアンダースタディの特権だと思います。また今日は「好意で」の

プロダクションで学んだことをお客様の前で披露する機会もいただけたり、稽古の空き時間に新国立劇場本公演のコレベティートルの方のレッスンを二回も受けられた

に生かせる貴重な」の経験は、自分にとって宝物です。オペラ歌手という夢に対する情熱を『トゥーランドット』が注ぎ込んでくれました。

札幌公演は

出演者からも人気

中江 今回の『トゥーランドット』は新制作だったので、「から創り上げる現場を見られる」ことは貴重でした。制作側も身を削つてぶつかり合い、本気で取り組んでいます。合唱メンバーの中には自分の後輩や知り合いもいたので、お互いに稽古中の疑問点などを話すことができました。

針生 オペラは人ととのアンサンブルで成り立つ部分が大きいので、コミュニケーション能力も大切ですね。最高のパフォーマンスと、愛、で出来ているのがオペラだと思います。

針生美智子（ソプラノ）

札幌大谷短期大学卒業、同専攻科修了。文化庁オペラ研究所第11期修了。道文化財団、文化庁在外研修員としてローマに留学。第2回藤沢オペラコンクール第1位ほか多数受賞。2018年10月、札幌文化芸術劇場こけら落とし公演『アイーダ』に巫女役で出演。2019年4月新国立劇場公演『ジャンニスキッキ』にネッラ役で出演。二期会会員。

【※1】アンダースタディとは、オペラの公演の主役クラスの役者の代わりに稽古やリハーサルに参加して歌う練習ができたり、役の勉強ができるキャストのこと。本番で代わりに歌う可能性がある場合は、カバーキャストとも言われます。

【※2】オペラの練習時にオーケストラ部分をピアノで伴奏して音楽稽古を行うピアニストをコレベティートル（またはコレベティウア）といいます。コレベティートルは歌手の教師役であり、稽古は伴奏だけに限らず、歌い方や演技の指導も行われます。

中江早希（ソプラノ）

北海道教育大学岩見沢校芸術過程音楽コース声楽専攻卒業。東京藝術大学修士課程音楽研究科声楽専攻独唱科、同大学院博士後期課程修了。第25回ハイメリ音楽コンクールにて声楽部門第1位、第3回ジュニアード音楽院コンクール第1位ほか多数受賞。オペラ夏の祭典2019-20 Japan↔Tokyo↔World『トゥーランドット』でリュー役のアンダースタディを務めた。



PLAYBACK 2018-2019

札幌市民交流プラザ オープニングシリーズ

札幌市民交流プラザの開館年のわくわくをお送りしてきたオープニングシリーズは、
札幌文化芸術劇場 hitaru のこけら落とし公演オペラ「アイーダ」を皮切りに、
多様な公演・イベントが開催されました。

2018年10月7日の開館から2019年9月までの1年間を振り返ります。

上段左から: こけら落し公演 オペラ「アイダ」、「HANANINGEN」、堀尾幸男 舞台美術展 亂反射、「創成川のI51年」、PRIMITIVE実行委員会「PRIMITIVE」、スペクタクル3D能「平家物語」、「Nameless landscape」、バルエ「白鳥の湖」、フォーラム「世界演劇史 / 日本演劇史」、Sapporo Photo 2018 札幌「写眞都市」祭、[SAPPORO KNOW EDGE TRFF] 宮城トーキベイ特集「哥子を歩くあなたがな」Noism2 リアル謎解きイベント「千手千の口」、川上由彦、コレクティブダンサーズ「春の祭典」

オペラが紡ぐ札幌の未来 インターンシップ事業

Human resource development

8月に開催された『トゥーランドット』の公演を控え、準備が続く札幌文化芸術劇場 hitaruのステージ裏には、大人のスタッフに交じってきびきびと働く学生たちの姿がありました。今回、地元で若手スタッフを育成するための新たな取り組みとして第一歩を踏み出した、インターンシップ事業について紹介します。



今回、札幌文化芸術劇場 *hitaru* のインターーンシップ事業に参加したのは、経専音楽放送芸術専門学校（札幌）のステージプロデュースコースで学ぶ5名の学生。今年5月、1年生が授業の一環として同劇場の施設を見学に訪れたことをきっかけに、学校へ呼びかけて実現しました。

それぞれステージ制作、照明、音響を専攻する5人にとって、オペラ公演の舞台裏にスタッフとして参加したのはもちろん初めての経験。「トゥーラ・ンドツ」の機材の搬入から立ち会い、「トランク45台分もの機材が時間差で運び込まれてきて、驚きました」と口をそろえます。

舞台セットを組み上げていく様子は、まるでひとつの建物を建てようかなスケール感だったそう。コノサート・イベント制作専攻2年の瀬戸ゆめかさんと嶋美咲さんは「高さ10mの階段ができるがった、と思ったらそれはまだ一部で、その下に同じ物がもうひとつできたり、重さ \pm もある巨大な機材を12本のバトンで吊り上げたり。すべてが想像を超えていましたね」。これまで音楽「コンサート」の制作を希望していた嶋さんは「この経験を通して劇場や舞台に関わる仕事をもいいな、と視野が広がりました」と話します。

ライティングを専攻する1年生の三上翔也さんと清水大地さんは、照明担当者の指示に従って、配布され

た画面を見ながら、LEDの電飾や配線の補助などに取り組みました。「今回は動く灯体がほとんどで、実物を見るのは初めての物ばかりでした。劇場の4階席の上にもスポットライトを調整する部屋があり、知らないことがたくさんあって楽しかったし、勉強になりました」。

音響専攻2年の辻悠那さんは「これまででは音がどう聴こえるのか、という視点に立っていましたが、「演者さんがより歌いやすいように」という配慮が大切だと学ぶことができました。自分の中の引き出しがひとつ増えたので、今後に生かせたらと思います」。オペラ公演の設営から撤去まで1週間携わった貴重な体験は、彼らの財産となつて将来に生かされるに違いありません。

インターナンシップ事業を担当する札幌市芸術文化財団市民交流プラザ事業一部舞台技術部長・伊藤久賀さんは「若手の方のこの業界への入口として、舞台裏の現場を体験してもらおうことが目的です。憧れはあるものの、実際にどんな仕事をしているのか分かりづらい世界なので、大人に交じって参加することで「意外と面白いんだ」と感じてもらえたたら。そしてその中から一人でも、札幌で一緒に働く仲間が育つってくれればと思います」。今後は、衣裳やヘアメイクなど、別の職種のインターナンシップ受け入れも検討中です。

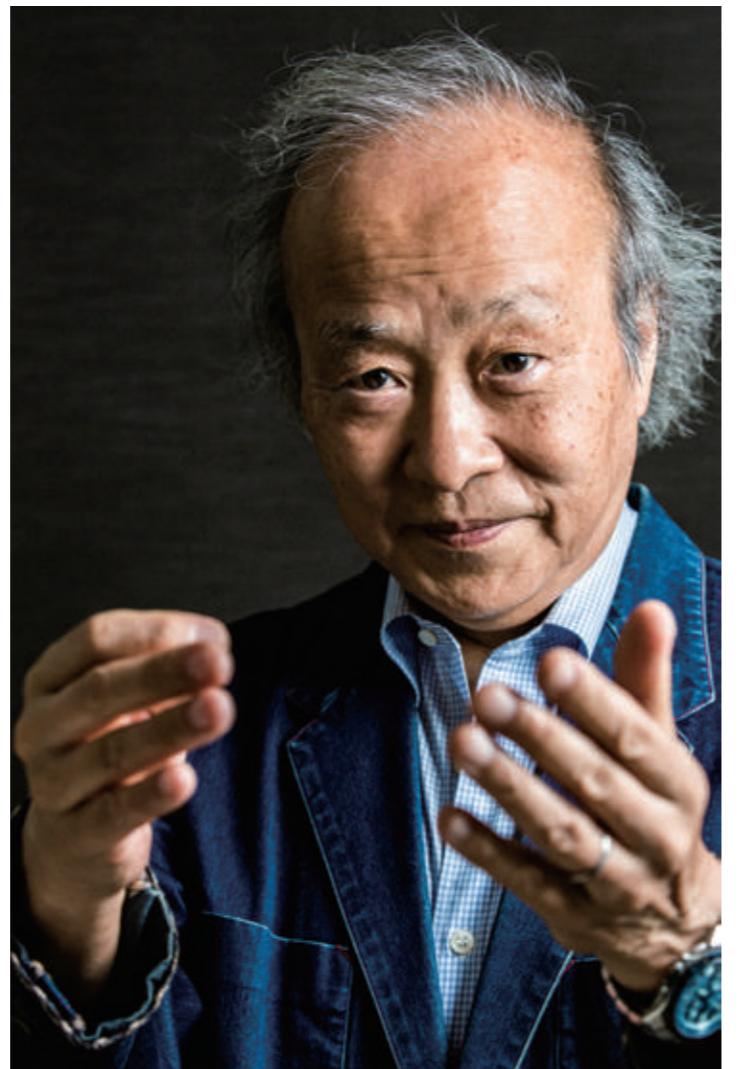


- s(k)now [show + know]
アートバイブルー・ルーム「雪」冬・北方圏と
アーティスト
- 「20代・30代から始める資産運用セミナー」
リアル謎解きイベン→モモイロの箱
「ワビサビ」結成2周年展
- 「ワビサビはどこから来たのか?」「ワビサビ
は何者か?」「ワビサビはどう行くのか?」
青少年バレエ鑑賞事業
- 景観未来会議 SAPPORO 2019
「それが違うやつ」
トークイベント「ねじまき雪まつり」を
作る人たちの物語
- 札幌演劇シーズン 2019冬
トトコ機械アター「ねじまきボット」
ともだちの車」
- hitaru 午後のひととき
～華麗なる「フィギュアスケートの世界」～
『北に生きる猫』土肥美帆トーキング
太々こく運べ、やめあへ力を語る
- PRIMITIVE 実行委員会「PRIMITIVE」
第5回 まちなかお庭のおんがくかい
～♪ドンの魔術師リストによせて～
SNOW MIKU 2019
- アーティスト・ルーム「都市と都市」
スペクタクル3D能 ポストバフォーマ
ンストーク@札幌市図書・情報館
スペクタクル3D能「平家物語」(3回公演)
- 起業志望者向け講座
「起業実現にむけた上手な相談のしかた」
札幌×「アフレックマーケット サン」
未来へのものぞ
- skhow [snow + know]
SCARTS レクチャーシリーズ
「未来、から逆算する、公立文化施設
の広報戦術」
- そうだー行政書士に聞いてみよーー
#SDGs北海道～2030年の世界・
日本・北海道・あなた
- 第17回 サッポロ未だ展
北海道 期会オペラ「椿姫」(アンヘルディ作曲)
「未来、から逆算する、公立文化施設
の広報戦術」
- 第6回 まちなかお庭のおんがくかい
～愛を奏でて～
hitaru 午後のひととき
～心躍る映画音楽～
- SCARTS レクチャーシリーズ
「アートを支える組織のためのアーティ
ストラブル解説」
- パッケージ・トーキング
Nameless Landscape
働く女子、30代「あなたの生活設計診断」
～モテルケースからみえて～
貯めかた暮らししかた～
- 第6回 サッポロ未だ展
北海道教育大学 実験劇場 第8回公演
マドリガーレ・オペラ「土方歳三最後の
戦」～義理殉じた男～(演奏会形式)
弦巻楽団 わたしたちの街の「ジヨリア
ス・シーザー」
- 札幌に眠る「ハナネ・タル・タヒ」の
匠オットー・ヴィットの世界
チック「ココ・ルコロ」 featuring
クリスチャハ・トマク・ハイム and
ブライアン・フレイム
- 第7回 まちなかお庭のおんがくかい
～春の暖かな光によせ～
想いをカタチにするデ・ザイ・
起業の もやもやがカタチになる～
～歩を踏み出すための相談窓口活用のハイペー
Noism × Noism + Noism レポートコー
舞踊経験者向けワークショップ

札幌文化芸術劇場 hitaru が誕生する前の準備段階から、
芸術アドバイザーとして同劇場に関わってきた、指揮者の尾高忠明さん。
昨年10月7日の開館から1周年を迎えた現在の思いと、
劇場への期待や、今後取り組むべき課題などについて伺いました。

尾高忠明

音の響きも広がりも想像以上。劇場の可能性は無限です。



札幌文化芸術劇場 hitaru の開館前に「街なかの利便性の高い立地にオペラハウスの機能を備えた劇場ができるのは、この上なく素晴らしいこと」と話されていた尾高さん。約40年に渡って関わりを持つ札幌を、自らの「第2の故郷」と語ります。2017年の5月には同劇場の建設現場を視察。昨年8月、初めて観客を招き入れて音響確認などを行った「開館トレーニング」の演奏プログラムでは、自ら札幌交響楽団を指揮されました。

「音がよく伸びるし、客席で聴いた時にも十分なボリュームで広がり、強弱の差もともよく出ると思いました。比較的大きなホールですが、楽器をそれほど強く鳴らさなくても音が届くので、より弱音を上手く使える演奏者に向いていると思います。内装に使用されている木が年月と共に変化していくにつれ、さらに響きが増していくのではないか」と。

また、開館後の評判は東京にいても耳に届き、「札幌以外の方からも『すごくいいホールができたね』と言っていただけて、本当にうれしいですね。この1年は、僕が想像していた以上のスタートを切ったと思います。コンサートホールのKitara ができたことで

札幌は都市としてステップアップしましたが、hitaru はさらに幅広いジャンルの芸術に触れ、人々が交流できる場所。街が文化的に成長する大きなチャンスです」。

今後の当面の課題はソフト面。「理想は、オペラやバレエの公演本数がもっと増えていくことです。そして、単価がそれほど高くない公演があったり、学生が気軽に観られるような格安チケットを販売できたりするといいですね」。さらに、劇場側が「ホールでできることの範囲」を決めてしまわないことが大切だとも。「可能性は無限にあります。とにかく皆さんに、あの空間に身を置いてもらうことを第一に考えたほうがいい」。

来年3月には、同劇場主催のコンサート『午後のひととき』でタクトを振る尾高さん。「懐かしの名曲からジョン・ウィリアムズが手掛けたテーマ曲まで、映画音楽を存分にお届けします。僕も今から、ステージに立つのをとても楽しみにしています」。

1947年神奈川県生まれ。71年にNHK交響楽団を指揮してデビュー。東京フィルハーモニー交響楽団常任指揮者、BBCウェールズ・ナショナル管弦楽団首席指揮者、読売日本交響楽団音楽監督、新国立劇場オペラ芸術監督などを歴任。現在、札幌交響楽団名誉音楽監督、東京藝術大学名誉教授などを務め、2017年より札幌文化芸術劇場芸術アドバイザー。



4月19日・20日	Noism2 金森穰振付 Noism レパートリー
5月6日	平原慎太郎 演出振付「BOW!!!」(2回公演)
5月11日	ゴジラ vs 札響～伊福部昭の世界～
5月16日	北海道一期会 Viva! オペラ～ Opera!
5月19日・25日	手抜きに見えない 時短ビジネスマイク術
5月21日・25日	アートボックスシアターウィーク@ SCARTS
5月24日・26日	資金集めの一歩先へ...ビジネスの「ファンづくり」におけるクラウドファンディング
5月29日	アートボックスシアターウィーク@ SCARTS
5月30日	砂澤ヒッキワーキーク
8月3日	二遊亭由楽プロデュース TVh落語×道新寄席
8月7日	「ぽろ落語まつり」
8月8日	東西の人気落語家が札幌に大集結！
8月9日	スタートアップ・ドローンビジネス
8月10日	「ドローン産業の展望と創業事例」
8月11日	札幌市図書・情報館×札幌国際芸術祭 共催講座
8月12日	SIAF2020 「ハイレクターズトーク 第3弾
8月13日	「DANCEにもアートが必要? -ビジュアルアート-」
8月14日	hitaru 夜のひととき
8月15日	「ギターデュオで奏でる初夏の夕べ～
8月16日	SCARTS ノクチャーシリーズ for ARTIST 「活躍の場を広げたい～アーティストのためのセルフプロデュース術」
8月17日・24日	公開セミナー「いま、野外彫刻の保全を考える」
8月18日	「コツを学んでビジネスに活かす！」
8月19日	日経新聞の読みかた講座
8月20日	アートプロジェクト2019 第1回オペラ「トゥーハービッド」見学会・聴き会
8月21日	SCARTS ノクチャーシリーズ for ARTIST 「作品の見え方が変わる～アーティストのための展示スキル相談室」
8月22日	HDP DANCE PREMIUM 2019 併催事業
8月23日	「ヒートアップホップワークショップ& hitaru 出演
8月24日	トーケン回のひととき
8月25日	まらなか夜のおくがくかい～鮭×酒～
8月26日	hitaru 午後のひととき
8月27日	「ヒートアップホップワークショップ」
8月28日	北海道ダンスプロジェクト公演
8月29日	HDP DANCE PREMIUM 2019
8月30日	女性のためのワークショップ
8月31日	SCARTS レクチャーシリーズ
8月32日	「文化事業を評価するための統計分析入門」
8月33日	女性のためのワークショップ
8月34日	本物は迷いバレンと音楽のおはなし
8月35日	SCARTS レクチャーシリーズ
8月36日	「めにみえないみにしたい」(3回公演)
8月37日	札幌演劇シーズン2019夏
8月38日	劇のたまご「ぐりぐりグリム～ハーツ」
8月39日	新国立劇場バレエ団アリランバルダンサーのバレエ経験者向けワークショップ
8月40日	ソーシャルビジネスセミナーin 札幌 discrete figures Special Edition 公演関連企画
8月41日	鈴木康広 雪の消息／残像の庭
8月42日	アート×H-TIMEIMENTの最前线 真鍋大度の創造性
8月43日	「ハーベカル」「レミゼラブル」
8月44日	hitaru 午後のひととき
8月45日	チハハロと歌うイタリア古典歌曲
8月46日	「チハハロでひととじつ曲の秘密」
8月47日	「ファンの声で強いブランドの作り方①」
8月48日	「お隣のヒーヒー屋さんはなんでこんな」「アン」が多いんだろう？」
8月49日	北海道ダンスプロジェクト公演
8月50日	HDP DANCE PREMIUM 2019
8月51日	初めての創業セミナー
8月52日	札幌市図書・情報館からはじまる起業準備

ピアノ演奏とトーク、そしてダンサーとのデモンストレーションを通して、バレエと音楽の深いつながりを教えてくれた滝澤志野さんと本島美和さん。イベントは、滝澤さんの「世界中に芸術を届けたい」という思いをきっかけに企画されました。

名門、ウィーン国立バレエ団専属のバレエピアニストとして、稽古やリハーサル、そして本番に至るまで、常にダンサーと共にしているからこそ知る、バレエと音楽の深い関係。「それを行うなら分かりやすく伝えられるかを二番に考えました」と滝澤さんは振り返ります。

「バレエには言葉がなく、実はダンサーと音楽家も近いようで使っている用語が違う」とイベントで明かしていた滝澤さん。音楽の稽古では、どちらかが動きや音楽に合わせることもありますが、本番では頭ではなく心を合わせていく感覚。お互いに最大限のものを表現しながら、その上で相手が表現したいことが伝わってくる感覚があるんです」と話すイベントでは、踊りと音楽をどのように合わせているのかを本島さんとのデモンストレーションで見せてもらいました。

本島さん。新国立劇場バレエ団のプリンシパルとして、3バージョンの振付の「くるみ割り人形」を経験してきた彼女は、11月に札幌文化芸術劇場「hitaru」で上演されるウェイン・イーグリング振付版の見どころを聞くと、「王子と金平糖の精のグラビン・パード・ドウは必見です。オーディックスな踊りにそこまでデコレーションするのかというくらい、ダンサー泣かせの難易度の高いテクニックが盛り込まれていますので、表情と合わせて見てほしいです」。

一方、滝澤さんは「『くるみ割り人形』の音楽は宝石箱のようで多幸感に溢れている」と絶賛。「チャイコフスキイの曲はつくりがすごくシンプルで、金平糖の精と王子のパード・ドードをひっくり返した『ドシラソファミレド』で、『アダージョ』も『ドレミファ・アラシミレド』でできています。それがどんなゴージャスに聞こえるなんて、本当に天才です」。

ダンサーと音楽が心を通わせる瞬間、そして、『ドシラソファミレド』はどのように聞こえるのか。11月の劇場で、ぜひお確かめください。

AFTERTALK バレエピアニストとプリンシパルが語る 「バレエと音楽のうらばなし」

新国立劇場バレエ団「くるみ割り人形」の関連イベントとして、

8月にクリエイティブスタジオで開催された

「バレエピアニストが語る本当は深いバレエと音楽のおはなし」。

出演された滝澤志野さん、本島美和さんにバレエと音楽について、

そして11月に上演される「くるみ割り人形」のみどころを聞きました。



ウイーン国立バレエ団専属ピアニスト
滝澤志野（写真左）

大阪府出身。大学在学中よりオペラ及びバレエ伴奏に携わり、2004年より新国立劇場バレエ団ヒアニストに、2011年よりウィーン国立バレエ団専属ピアニストに就任。バレエピアニストとしての専門性を深めながら、ソリストとしても活躍し、これまで2枚のバレエレッスンCDをリリースしている。

新国立劇場バレエ団 プリンシパル
本島美和（写真右）

東京都出身。牧阿佐美、三谷恭三、豊川美恵子、ゆづみほに師事する。2001年に新国立劇場バレエ研修所に第一期生として入所し、2003年に新国立劇場バレエ団にソリストとして入団。これまで数多くの主役を務めている。2000年に橋爪千賀賞新人賞を受賞。2011年にプリンシパルに昇格した。

【知っておきたいバレエ用語】

バレエ用語は世界共通で、その多くにフランス語が用いられています。



アラベスク
片足で立ち、一方の足を上げるポーズ。



ビルエット
つま先を軸として回転する技術の総称。



グラン・フェット
上げた足の反動を利用して回る回転技。



レヴェランス
舞台で踊り終わったあとにするお辞儀。



パ・ド・ドゥ
男女2人で踊ること。主役級の男女がそれぞれ見せ場もありながら踊るものは「グラン・パ・ド・ドゥ」と呼び、同性2人で踊るものは「デュエット」と称されます。



ヴァリエーション
主役級の人人が一人で踊ること。



コール・ド・バレエ
大勢が一緒に踊る群舞のこと。または群舞に参加しているダンサーのこと。

Viva! Theater life

～劇場がある暮らし～

まちの劇場を、もっと身近に。舞台や劇場の楽しみ方をご提案します。

[VOL.4 : バレエ]

作品は振付家で大きく変わる

バレエには多くの見どころが

あります。その一つがバレエは同じ作品でも振付家によって見え方が変わること。振付家が違うと、ストーリー やキャラクターの性格すら変わることがあります。

例えば、新国立劇場が過去に上演した「くるみ割り人形」の中でも、ワイノーネン版は、大人のダンサーがずっと少女役として登場

あります。一方で、本島さんによると、この「くるみ割り人形」は、物語や音楽によって表現されるのがバレエという舞台芸術です。時に華麗にしなやかに、時に激しく強靭に、ダンサーの身体表現とオーケストラの生演奏が合わさって進むバレエの物語は、言語の壁も時代を超えて、心を震わせるほどに美しさと感動を届けてくれます。

「白鳥の湖」の32回のグラン・フェット（回転）をはじめ、バレエはダンサーたちの技を生かした見せ場が必ずあります。物語や音楽を楽しみながら、そうしたダンサーが魅せる動きや技についても、ある程度の知識を入れておくと、より一層バレエの面白さを体感できることでしょう。

ダンサーの動きや技にも注目です

「白鳥の湖」の32回のグラン・

フェット（回転）をはじめ、バレエはダンサーたちの技を生かした見せ場が必ずあります。物語や音楽を楽しみながら、そうしたダンサーが魅せる動きや技についても、ある程度の知識を入れておくと、より一層バレエの面白さを体感できることでしょう。



表紙は、10月に上演される「風に聴くーみたびみえるー」の公演チラシにも使われている砂澤ビックの作品。実はこの絵のモチーフは能藤玲子さんで、1986に行われた玲子回公演を見るために音威子府から札幌に向かう車中で描かれたといい、翌日の早朝に砂澤さんから能藤さんへ手渡しされたそう。現在は能藤さんのご自宅のリビングに飾られており、力強くも優しい筆跡が、能藤さんの舞踊の躍動感や神々しさを感じさせてくれます。



能藤玲子創作舞踊団 第19回公演「風に聴く」
北海道厚生年金会館大ホール 1986年12月5日

—能藤さんが舞踊で大切にされていることは何ですか？

舞踊家は、常に何を表現するか考え、常に社会を見ていることが大事かなと思っていました。私は、長い間「女」をテーマとした作品を作り続けてきました。自分自身が自立してダンスをやっていく中で、自分とは何かを深く考え、そこで「女」としての自分を見つめ

自分を見つめているだけではダメ
自然があるから人間は生かされる

動きが生きない。団員もうんざりしていると思う
れど、これが現代舞踊の縮図だと思います。



能藤 玲子
1931年網走市生まれ。6歳から9年間日舞藤間流に入門。1949年網走高女卒、網走市第2中学教員。1951年現代舞踊家・邦正美代に師事。1959年札幌に創作舞踊研究所を開所。88歳の現在まで札幌で定期公演33回の他、東京などで新作を次々発表。芸術祭優秀賞、札幌市民芸術賞、現代舞踊フェスティバル優秀賞、北海道文化賞、松山市バレエ芸術賞、江口隆哉賞など受賞多数。海外公演を含め、ヨーロッパ、ギリシャ、パリ、チベックなど多数。

「風に聴く」は自然への畏敬を表す砂澤ビックとの魂の共同作品

「風に聴く」は自然への畏敬を表した砂澤ビックとの魂の共同作品。1959年、能藤さんは札幌に「能藤玲子創作舞踊研究所」を設立。以降、精力的に創作活動を続け、先駆的な作品の数々を北海道のみならず、東京、海外にて上演してきました。10月にクリエイティブスタジオで上演される「風に聴く—みたびまみえる—」は、1986年に初演された能藤さんの代表作の一つです。

——東京を去ることになつたきっかけは何ですか？

東京はいつでもそうですが、流行に流される街。当時、海外からいろいろなダンスが入ってきて、それを真似しながら取り入れる傾向があつたんですね。私は東京にいても自分は流されると想い、北海道で自らの舞踊を確立しようと思つて決意したのです。邦正美から「北海道は熊が出るような土地だから、ダンスなんてやつていけない。東京で続けるべき」と反対されましたが。

——「風に聴く」はどのような思いで作られた作品ですか？

「風に聴く」は、人為的に自然が破壊されているところに目を向けないといけないと思って作った作品。そういう視点を持たないと人間は生きていけないのではないか、人間の営みだけを考えてダンスを作つてしまふが、ないと思つています。

——「風に聴く」では、彫刻家・砂澤ヒッキさんの作品が舞台美術として使われてきましたが、その出会いについて聞かせてください。

「風に聴く」の制作にあたり、以前から一緒にやつてみたかったピッキさんと、美術の依頼をしましたが、なかなか進まないので音威子府のアトリエを訪ねました。そのとき展覧会に出展する作品を制作中で、それがとても素晴らしいと感動しました。その作品は四つの「風」というタイトルで、「風に聴く」と同じテーマ。大きさもイメージも、作品にピッタリでした。

——「風に聴く」における「四つの風」の位置つけとは、春夏秋冬、ここに4体の彫刻の配置を転換し、風神分身と向かい合うような作品で、神に捧げる気持で踊ります。自然を畏敬の念で捉えて接しなけれども、人間は生きられないと実感し、今回もその思いをますます強くしています。

舞台に。私は網走生まれなので、自然を表現する
で流水を抜きには考えられません。氷に閉じ込め
れた人間や動物のイメージから、氷が割れたり盛
上がりたりする様に人間の営みを映し出し、やがて
流水に流れさせていく姿を通して抗えない人間の性
表現したいと思っています。

—現在は作品をフランシュアップしている段階ですか
ラスト7分の表現が大変。流させていくフォルムを

——これまで札幌の舞踊シーンを牽引されてきて、今はどのような時代だと感じていますか？

今は、いろんな所で誰もが踊れる時代。その一方で現代舞踊を生業としている人は、もっと思考的に舞踊を作り上げいかなければいけないと思っています。

札幌において、現在のモダンダンスの中核となつているのが40～50代の女性たち。いい年齢の女たちが思案して作ったダンスを発表する場がないのが札幌の弱みです。真剣に踊りと向き合う人たちが、繰り返し上演できる場を作らなければいけないと思います。

——今後のご自身の展望をお聞かせください。

過去の作品で今観て欲しい作品がたくさんあります。たとえば「曾根崎心中」。愛の形が不毛になつてゐる現代において、愛を問う作品を団員にも踊らせてあげたい。でもモダンダンスを踊る男性がいないのが課題ですね。田中泯みたいな男がいたらいいなと思うけど……（笑）。

のではなく、理由があつて体を動かすもの。内面的に表現したいものに合わせて動きを作り上げるものだと。彼と出会い、今までのダンスは何だったんだろううと思いました。

—その後、邦正美さんに師事されたんですね？

1957年に教員を辞職して上京し、邦正美舞踊研究所の所員に。邦正美から「思考性のない者は踊る必要はない」「社会との接点のないものは作るべきではない」という教えを受け、私は内面的に何を表現するかを学びました。

——邦正美さんの教えはどのようなものだったのですか？

邦正美から「ダンスは音楽に従属するものではなく、独立した舞台芸術だ」ということを教わり、とても魅せられました。ダンスは音楽に合わせて体を動かすのではなく、理由があつて体を動かすもの。内面的に表現したいものに合わせて動きを作り上げるものだと。彼と出会い、今までのダンスは何だったんだろうと思いました。

肉体を通じて、人間自身を表現し、自然と対話する——舞踊家・能藤玲子。された「風に聴く」は、彫刻家・砂澤ビッキの作品を舞台美術とした代表作。れた世界が、10月18日・19日にクリエイティブスタジオで上演されます。制作中の氏に、舞踊への思い、砂澤ビッキとの思い出などを伺いました。

|連載| アーティストボイス

「風に聴く」を聴く

舞踊家
能藤玲子

モダンダンスに魅せられ
舞踊の本質を追求した修行時代

――能驥さんと舞踊との出会いについて聞かせてください。

私は網走で生まれ、6歳から、藤間流の日本舞踊を習い始め13歳まで続けました。その後戦争でお稽古をやめ、終戦後、女学校で舞踊家・石井漠さん門下のダンスの先生からモダンダンスを学びました。日本舞踊は型が多くて窮屈な気がしていましたが、モダンダンスは「とにかく、自由な踊り」。召文を読みながら、うきよ寺ら

アートコミュニケーターは市民とアートをむすぶ

札幌文化芸術交流センター SCARTSでは、

市民とアートのつなぎ手「SCARTSアートコミュニケーター」の活動を軸としたアートコミュニケーション事業を展開。

アートコミュニケーターとは何か？どんな活動をしているのか？

参加している方々のお話を伺いました。



川上りえ
「Landscape Will 2019」展の
鑑賞プログラム

こどもワークショップ
「つながるはじまるたんけんたい」
ファシリテーター

さっぽろアートステージ
2018鑑賞サポート

●SCARTSアートコミュニケーターの
ウェブでの「鑑賞レポート」は、こちら！



SCARTSアートコミュニケーターは、市民とアートのつなぎ手を育成するために、2018年8月より活動を開始。「市民がより能動的に文化芸術を楽しむことができるよう」にサポートする活動、「多様な市民がアートを介して交流する機会をつくる活動」、「世代や職業を超えた約30名の市民が参加して活動を続けています。アートコミュニケーターとしての活動期間は3年間。「アーティストと一緒に活動したい」「アートイベントを企画してみたい」「いろいろな人たちと交流したい」「子どもたちと関わる活動をしてみたい」といった思いを持った人たちが集まり、活動を通して活動の幅を広げています。

SCARTSでの実践活動を通してそれぞれの「やつてみたい」を実現し、3年間の活動後は地域や職場など、自身のコミュニティで文化芸術と人々をつなぐ活動を展開することを目指しています。

SCARTSアートコミュニケーターの主な活動は、作品鑑賞のサポート、「ワークショップ」の運営、オリジナル企画の立案・実施、ウェブでの情報発信など。これまで以下の実践活動に取り組みました。今年度も新たな講座・実践活動を展開することのつなぎ手として活動の幅を広げています。



アートコミュニケーターに
聞きました

「アートに答えはない」
という視点が新鮮

中川貴博さん

(グラフィックデザイナー)

長年携わってきたデザインの仕事の知識を生かせると思い応募しました。アートのことは多少知っているつもりでしたが受講してみると知らないことがありました。「アートに答えはない」から自由に感じてください」という視点が新鮮で、結構カルチャーショップでした。講座では毎回新しい学びがあり、柔軟な思考に変化したように思います。アートコミュニケーターの活動は本当に楽しいし、いろいろな人が行き交うSCARTSは場としての可能性を感じますね。残りの期間、いろいろなことが起こりそうでワクワクしています。

アートに関わる活動で
自分自身が成長

田中麻貴さん(主婦)

1年前に東京から移住し、間もなくアートコミュニケーター募集のチラシを見つけ、以前から大好きだったアートに関する活動がしたいと思い応募。美術に興味がない方にも、アートの魅力を発信していくメンバーの一人であります。

あることがうれしいですね。アートコミュニケーターの活動は、日常では関われないような方々とコミュニケーションが取れて、心が通じ合う瞬間を味わえるのが魅力。道内外のアーティストを支えている方々と同じ時間を共有できるのも最高の喜びです。アートに携わる方々の仕事に接することができるのも有意義で、活動を通じて自分自身が成長できていると想い、夫からも「イキイキしてるね」と言われます。

みんなのアイデアで
創り上げる面白さ

千葉英樹さん

(元テレビディレクター)

新聞で募集告知を見て、テレビのディレクター経験を生かせると思い応募。今までアートに興味がなかった人、まったく来る人に「なんだか面白そうなことをやつてるぞ」と興味を持つてもらおうことが僕たちの仕事だと思っています。アートコミュニケーターの活動は、テレビと同じようにみんなで創り上げていくもの。年齢も職業もバツグラウンドも異なるメンバーが、意見を言い合いつながらアイデアを絞り込んでいくのが面白いですね。講座を受講していくうちに、メンバーの自己主張が薄まり、みんなで考える雰囲気が出てきたように感じます。今後は、テレビでやつていた特撮の経験を生かせるような企画をやってみたいと思います。

——札幌市図書・情報館の開館から1年を振り返っての感想、意外だったことや印象的だったことは何ですか？

中村 当館は、既存の図書施設とは異なる、情報提供や調査相談に重点を置いた「課題解決型図書館」。オープン前には本を貸し出さないことに批判が寄せられるではと思っていましたが、そうした苦情はほとんどありませんでした。ビジネスに特化した従来にはない図書館の運営に携わり、司書キャリアの中でも最も充実した日々を送っています。

渡辺 他の図書館と比べて来館される方の年齢層は若く、地方や海外から訪れる方も多くいらっしゃいます。図書・情報館の情報発信は主にSNSでしか行っていないので、市外から多くの反響があったのは意外でした。

若林 従来の公共図書館にはない、独自の本の分類、棚づくりが新鮮で楽しい経験に。来館者は新たに図書館のカード（貸出券）をつくる方が多く、札幌市民がいかに持つていなかつたのか、意外な驚きでした。

——オープン前の選書や棚づくりは大変だったのですか？

中村 4万冊近くの本を、しかも専門分野の本ばかりを選ぶのは大変でしたね。選書は突き詰めていけば分野がかぶつて、これは医療なのかAIなのか？農業なのかロボットなのか？

——本棚の見せ方も独自ですか？

渡辺 その棚にどんなジャンルの本があるかを伝える「小テーマ」を設けていてたとえば医療・健康の棚では内科や循環器といったジャンルは普通の図書館に近い分類をしていますが、鬱などの精神疾患の場合ディリケートな部分も

食なのかサービスなのか？…という風に、一冊一冊相談しながら棚に差し込む作業の連続でした。

渡辺 開館したのが昨年10月で、私が配属されたのは4月。その時点では棚はまっさらで、そこに大枠でジャンル分けした本を詰め、細かく分類していました。

若林 一冊ずつ本を読んで、どの棚に入れるかという作業。あれがいい、これがいいと何案も出して、いや1日寝かせようとか…そんな繰り返しでオープンに間に合うのかと思いました。

——本の分類や管理はチームで行っているのですか？

中村 当館には16人の司書がいて、4人1チームで4つのテーマごとに担当。面白いチーム名をつけていて、「鉄チーム」は製造業やITなど、「土チーム」は農業や林業など、「金チーム」は金融業など、「花チーム」はファッショングループなど、それぞれのジャンル別に蔵書を管理しています。

——司書という仕事あるいは札幌市図書・情報館での仕事のやりがいや面白さは何ですか？

中村 日々、新しい情報が自分の中に蓄積され、自分自身が情報の宝箱になつていく感覚があります。実は司書同士の会話は、どんな業種の、どんな話でも延々と続いているもの。いろんな情報や考え方方に触れ新しい発見につながっていく楽しい仕事だなと思います。

渡辺 公共図書館はできるだけ情報を広く網羅するのがベストだと思うけど、当館はスペースに限りがあるため、どれだけ利用者の役に立つようには本を置き、棚を構成するのかは私たち司書一人ひとりの考え。いい意味で主観的な視点が入っているのが面白いところだと思います。

若林 情報を提供することにより、利用者の世界が広がることがあります。例えば、起業志望の方に、関連する本を紹介し、さらに相談窓口にご案内して、実際に起業された方も

あり、やわらかい表現で誰でも手に取りやすいような棚づくりを心がけています。

若林 あと「ハコニワ」という本棚の部に赤い枠で囲んだ展示棚を設けていて、旬のトピックや好奇心を掻き立てるテーマを決めて、さまざまなジャンルの本を期間限定で紹介する展示。

テーマの設定や選書に、それぞれの司書やチームの思いが反映されています。

——札幌市図書・情報館における今後の目標や思いをお聞かせください。

中村 ランガナタンというインドの図書館学者に「図書館は成長する有機体である」という言葉があります。当館は新しいサービスを提供していますが、5年、10年と経つても、時代に適応して進化していくかなければなりません。いつまでも時代の見極めを大切にしていきたいですね。

渡辺 当館は、貸し出しをしない図書館。でも、それは従来からある地域の図書館があってこそその在り方だと思います。図書・情報館だけではなく、近くの図書館にも目を向けていただきたい。他の館との連携を広げ、図書館全体を盛り上げていきたいと思います。

若林 当館では「はたらくをらくにする」というキヤッチフレーズを掲げていて、さまざまな専門誌やデータベースなどの情報を提供していますが、まだまだ深いところまで読み込まれないように感じます。多くの利用者に、もっと情報を知り、もっと役立ててほしい。そのため、どんな些細なことでも気にせずに、私たち司書に相談していただければと思います。

札幌市図書・情報館 TOPICS

図書館の新しいカタチ 札幌市図書・情報館の 1年を振り返る

札幌市図書・情報館は、従来の公共図書館とは異なり、仕事や暮らしに関する情報提供に特化した新しいカタチの図書館。本の分類・管理を担当する3人の司書が、開館から1年を振り返り、それぞれの思いを語りました。

左から 札幌市図書・情報館 司書 渡辺由布子さん、若林はるかさん、中村吏志さん



「MORIHICO・藝術劇場」は、カフェと札幌市図書・情報館が一体となった開放的な空間。観劇の待ち時間や舞台の余韻に浸るとき、読書の合間など、館を利用するさまざまな人が訪れる。

MORIHICO. | story |

オーナーの市川草介さんは「初めて館の情報をいただき、オペラができる劇場が誕生すると聞いたとき、ちょっと衝撃を受けました。オペラができる機能と規模を備えた劇場は、日本でも極めて希少。そんな芸術劇場がある館のカフェと一緒にすることで、素晴らしい芸術に触れた後、その余韻に長く浸つてもらえる空間が重要だなと思いました」と言う。では、空間のこだわりとはどのようなものだろうか? 店内に入つてまず目に入ったのは、アーチ状に吊るされたガラスの照明だ。

「当初、オペラ劇場や宗教建築などを思い描き、天井にこだわって鑑賞する空間にしたいと考えました。天井をアーチ構造にする、鉄骨でアーチを組むといった案を出しましたが、建築する上で物理的にNGと判断されたんですね。そこで生まれたのが照明でアーチを作ろうというアイデア。結果、あの照明が店を象徴する一つの顔になっていると思います」。

店内に並んでいるイスやテーブルは、

異種類ばかり。バラバラなデザインがファンダムに並んでいるが、空間との自然な一体感が醸されている。「訪れるお客様は一人ひとりに個性があり、バラバラなファニチャーは、みなさんに対するリスペクトの表し方なんですね」と市川さん。そのかたわらにある、鉄格子にドライフラワーが絡んだディスプレイがひときわ目を引いた。

「これはHARUMIという札幌の新進気鋭のアーティストで、フラワーアーティストの妻と美容師で古物マニアの夫のユニット。鉄格子があつて、そこに山から取ってきた葡萄蔓を這わせ、それを背景にお客さまがコーヒーを飲んでいる—その風景は一枚の絵になつていて。この店では、お客さまが絵になるような構図を描いてい

るのです」。

カウンターに目を移すと、バリスタがエスプレッソマシンを操作している。「カウンターは船側面のイメージで、下部に湾曲しているので、お客様はカウンターにぐつと近づいて、バリスタと会話できる仕組み。側面には、劇場で公演したアーティストたちがコーヒーを飲みながら描いたサインが残されています」。いつの日か、このカウンターが偉大なアーティストのサインで埋めつくされるだろう。海外のオペラ劇場のそばにあるカフェがそうであるように。

芸術の余韻に長く浸れる空間



PLAZA REPORT

札幌市民交流プラザ
メンバーズ会員限定

施設見学会／避難訓練コンサート

札幌市民交流プラザでは、施設により親しんでいただくため、「札幌市民交流プラザメンバーズ」という年会費無料*の会員組織を設けています。メンバーズの会員が受けられる、さまざまな特典の中から特に人気の高い2つのイベントをピックアップしてご紹介します。

*DM会員のみ送料・事務手数料1,000円／年度が別途かかります。



北海道初の多面舞台を備える「札幌文化芸術劇場 hitaru」。しかし、いかに劇場がすごいと聞いても中に入るためには公演やイベンのチケットを購入しなくてはなりませんし、演出の舞台裏までをうかがい知ることはなかなかできないでしょう。そこで、「札幌文化芸術劇場 hitaru」を知つていただき機会として開催しているのが、「メンバーズ向け施設見学会」です。

昨年12月に開催した初回の見学会では1回の実施に対し、定員を大幅に上回る応募があったため、今年7月の見学会は回数を3回に増やし、内容も一般向けと小学生向けに分けて実施しました。舞台技術部の伊藤久幸部長をナビゲーターに、オペラカーテンが上下、左右、そして斜めに開閉するバターンを見比べてもらい、舞台上がつて多機能な照明やバトンと呼ばれる舞台装置を紹介。親子向けには雪を降らせる仕組みも実演して紹介しました。さらに藤女子大准教授の新海節氏によるピアノ演奏を行い、演奏中に自由に席を移動しながら、場所や角度によって異なる音の聞こえ方も実体験してもらいました。施設見学会は公演のないタイミングでないと実施できず、日程を決めるのが大変ですが、今後も定期的に開催して、劇場の魅力を広く発信していくことを考えています。

また、メンバーズ向けの特典イベントとしてもう



メンバーズは常に募集中で、この2つのイベントのほかにも、札幌文化芸術劇場 hitaruが主催する公演チケットの先行発売やリハーサルの見学、さらにはプラザ内のカフェ「MORIHICO.藝術劇場」やレストラン「DAFNE」の優待、近隣ホテル等での優待など、たくさん特典があります。34ページの情報もご確認いただき、ぜひこの機会に入会をご検討ください。



浪越令子さん、知子さん ●伊達市
娘の運転で伊達から来て、札幌シネマフロンティアで映画を見た後にDAFNEでランチ。冷製パスタが特に美味しかったです。今度はディナーで来たいと思います。



宇野さんご家族 ●札幌市中央区
明るく良い雰囲気で、本もゆっくり読めますし、一日中過ごしたくなる場所ですね。2年目以降も興味深いイベントが開催されることを楽しみにしています。



石井洋次郎さん、知子さん、理華さん
●札幌市中央区
中心部にあって入りやすいですし、施設も充実していて、市民として誇らしく感じています。開館から1年とは思えないほど、私たちに欠かせない施設になっています!



佐藤日菜乃さん、土居千晃さん
●ともに札幌市豊平区
看護師になるため勉強中で、本が充実している図書・情報館を活用させてもらっています。あと、オシャレなMORIHICO.もインスタ映えを狙って結構行っています(笑)。



武田篤哉さん ●北広島市
山形祐太さん ●札幌市豊平区
MORIHICO.と図書・情報館をよく利用します。MORIHICO.は空間がインスタ映えがすごいらしいので、今度頼んでみます。



後藤正則さん、衣音さん
●札幌市中央区
ホリデーテーリングのスタンブラーのポイントになっていたので初めてきました。全体的にすごくオシャレで、娘と「とても楽しそうな雰囲気だね」と話していました。



柳澤乃里さん、
真結さん
●札幌市西区
札幌文化芸術劇場 hitaruは、大きくて、舞台の仕組みもすごく、まるで海外のホールみたい!これからも国内外のさまざまな公演をどんどんやってほしいです。



佐藤吉宏さん、美香さん
●東京都
元々は札幌市民で、周りから新しくできたと聞いて寄りました。今日は一日、札幌観光を楽しむ予定。新しくできた飲食店を図書・情報館の雑誌でチェックしてみます。

荒木一恵さん ●札幌市中央区
池本里佳さん ●札幌市中央区
白石裕美さん ●札幌市西区
元同僚3人で「トゥーランドット」を鑑賞。作品はもちろん、オーケストラピットもある本格的な劇場に感動しました。これからもステキな作品を届けてください!



市川義一さん、ヒロミさん ●札幌市西区
開館から1年間、観劇した中での一番は「トゥーランドット」かな。舞台が圧巻で、ラストも印象的でした。今後も老いも若きも集つ、朗らかな場所に育ってほしい。



鈴木康広さん
●東京都
ここは誰もが自分の居場所を見つけられる場所だと思います。自然光が入る2階のこの空間も、「僕のまばたきの葉」という作品を展示するのに最適な場所でした。



古田紫さん ●札幌市豊平区
小山彰子さん ●札幌市中央区
永瀬麻衣子さん ●札幌市中央区
勤務する福祉施設の子どもたちが出演する、ダンスの発表会を見にクリエイティブスタジオにきました。みんな緊張MAXでしたが、無事に終わってホッとした。



橋本貴史さん、由香理さん
●恵庭市
以前から来たかったのですがタイミングがなくて、今日ようやく来れました。もう1年絆つんですね。手軽にアートに触れられて、とてもいい場所だと感じました。



ジャン・エマニュエル・クレマンさん
●札幌市北区
フランスから仕事を札幌に来ています。滞在は2年間の予定で、現在7ヵ月目。今日はリサーチの仕事で必要なコンピュータの本を探しに図書・情報館にきました。



佐藤日菜乃さん、土居千晃さん
●ともに札幌市豊平区
看護師になるため勉強中で、本が充実している図書・情報館を活用させてもらっています。あと、オシャレなMORIHICO.もインスタ映えを狙って結構行っています(笑)。



武田篤哉さん ●北広島市
山形祐太さん ●札幌市豊平区
MORIHICO.と図書・情報館をよく利用します。MORIHICO.は空間がインスタ映えがすごいらしいので、今度頼んでみます。

舞台を観たり、イベントに参加したり、アートに触れたり、食事をしたり、本を読んだり。みんなはどんな目的で来館しているのかな? 来館されていた方々に1周年を迎えた札幌市民交流プラザの感想や来館理由などを聞いてみました。

開館から1年 札幌市民交流プラザ、どうでしょう?

SNAP & MESSAGE

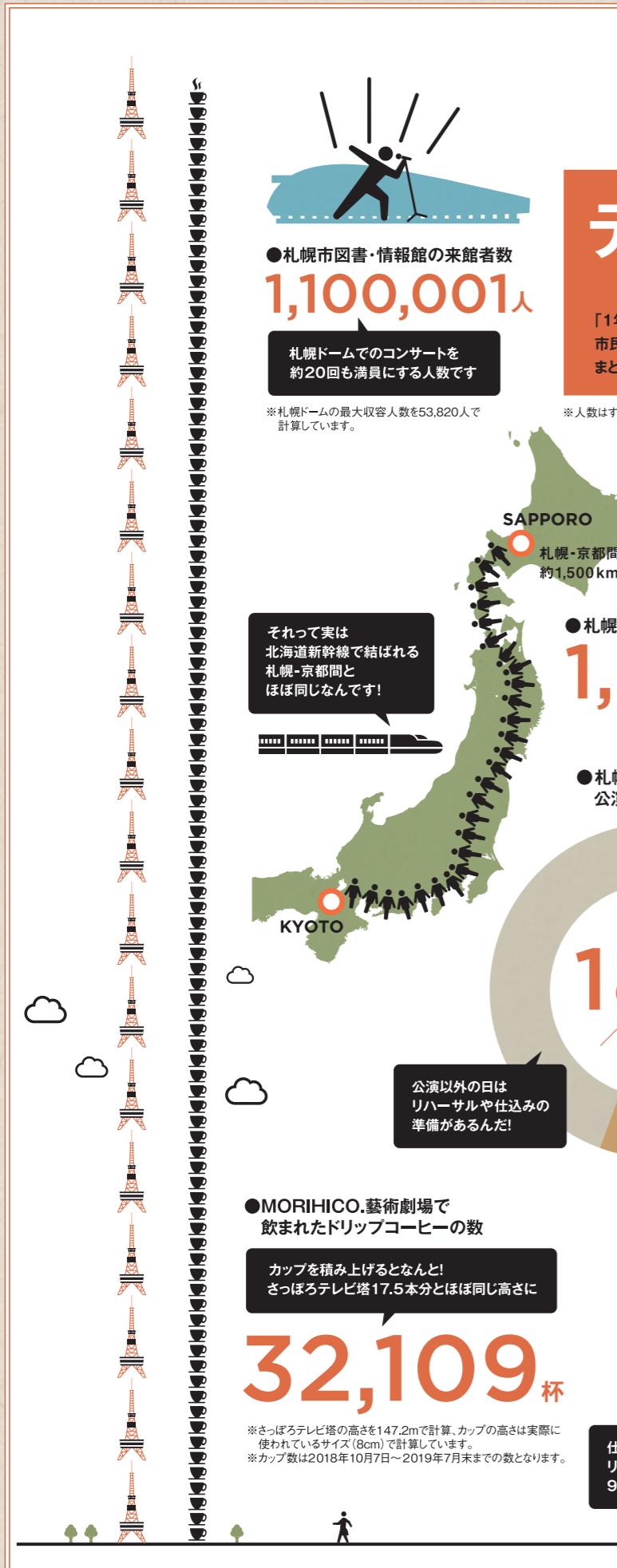


佐藤吉宏さん、美香さん
●東京都
元々は札幌市民で、周りから新しくできたと聞いて寄りました。今日は一日、札幌観光を楽しむ予定。新しくできた飲食店を図書・情報館の雑誌でチェックしてみます。

荒木一恵さん ●札幌市中央区
池本里佳さん ●札幌市中央区
白石裕美さん ●札幌市西区
元同僚3人で「トゥーランドット」を鑑賞。作品はもちろん、オーケストラピットもある本格的な劇場に感動しました。これからもステキな作品を届けてください!



I love this place!



データで見る 市民交流プラザの1年

「1年間にどのくらいの人たちが利用したのか」など、市民交流プラザに関するさまざまなデータをまとめてみました。

※人数はすべて2018年10月7日～2019年8月末までのものとなります。(328日)

全員が手をつなぐと、その距離は約1,500kmに!

●札幌市民交流プラザの来場者数
1,892,343人

※成人男性が手を広げた幅は80cmとして計算しています。

●札幌文化芸術劇場 hitaruでの公演・イベント数

183公演 / 328日

1年の半分以上55.8%も公演が行われていました

●クリエイティブスタジオでの公演・イベント数

170公演 / 328日

仕込み準備やリハーサルもいれると90%の稼働率です!

●MORIHICO 藝術劇場で飲まれたドリップコーヒーの数

カップを積み上げるとなんと!さっぽろテレビ塔17.5本分とはほぼ同じ高さに

32,109杯

※さっぽろテレビ塔の高さを147.2mで計算、カップの高さは実際に使われているサイズ(8cm)で計算しています。
※カップ数は2018年10月7日～2019年7月末までの数となります。

開館から1年
札幌市民交流プラザ、どうでしょう?
SNAP & MESSAGE

野口聰子さん、慧さん、柊さん
●札幌市中央区
子どもたちは、パパとアンパンマンのイベントに来たことがあるのですが、私は初めて。思っていたよりも図書館が広い印象を受けました。次は家族全員で来たいです。

富本文子さん、茉依さん
●札幌市西区
今日は施設見学会に参加しに来ました。札幌にこういう劇場ができるのを待っていました!これからも素晴らしい舞台が見られることを期待しています。

下田蒼さん ●東京都
伊藤千絆美さん ●滝川市
バスの車窓から見て、何の施設が気になつて立ち寄りました。ガラス張りの外観がキレイで、外から窓越しに勉強している姿が見えて、構造になっているのも面白いですね。

上田亜希子さん、怜旺さん
●札幌市西区
札幌文化芸術劇場 hitaruに今日、初めて入りました。広くてキレイで、音もすこいいですね。なかなかチケットが取れないですが、早くここでオペラを見てみたいです!

柴田瑠美さん、光優さん
●札幌市北区
札幌市民交流プラザに来たのは今回で2回目。1回目は札幌文化芸術劇場 hitaruにコンサートを見に来たのですが、音がすごく良かったのが印象的でした。

美濃杏香さん ●江別市
小神野綾香さん ●江別市
笛森匠海さん ●札幌市中央区
今日はSCARTSの展示会でアルバイト。子どもたちが楽しんで参加する姿を見るところももうれしくなります。交流プラザは3人とも日頃からよく使っています。

湯口信夫さん、芳子さん
●札幌市豊平区
美術や芸術が好きで、毎週のようにイベントを見に来ています。今日も外から空気で膨らむ透明の人が見えて、なんだろうと思って立ち寄りました。

沼山良明さん、寿美枝さん
●札幌市東区
箭内晶子さん ●札幌市豊平区
今日はクリエイティブスタジオで演劇を鑑賞。SCARTSを利用することが多く、ワークショップに参加したり、主催者としてイベントにも使わせてもらいました。



「都心のオアシス」を目指して

札幌市民交流プラザは、「札幌文化芸術劇場 hitaru」(ヒタル)、「札幌文化芸術交流センター SCARTS」(スカーツ)、「札幌市図書・情報館」の3施設からなる、都心の新たな文化芸術の拠点として、昨年10月7日に誕生しました。

開館以来、hitaruでの公演やSCARTSでの展示、イベント、図書・情報館での調べ物やミーティングなど、毎日たくさんの方々がさまざまな目的で来館され、1周年を迎える頃には、来館者数は200万人に到達する勢いです。

また、プラザにはこれら3つの施設に加えて、図書・情報館の本を持ち込むカフェ「MORIHICO.藝術劇場」や北海道の食材の素晴らしさを発信するレストラン「DAFNE」などもあり、お客様が、それぞれのスペースで思い思いの時間を過ごされていることをたいへん嬉しく思っています。

今後も多くの人が集い、都心に新たな賑わいを生み出していくように、複合型文化

施設であるプラザの特徴を活かし、文化芸術を身近に感じながら、潤いやゆとりのある時間を過ごしていただける「都心のオアシス」を目指していきます。

併せて、新幹線の札幌延伸を控え、令和という時代とともに札幌の都心部が大きく変貌を遂げていく中で、札幌の魅力を文化芸術を通して、国内外に発信していく拠点としての役割も担っていきたいと考えています。

文化施設の真価は、建物の大きさや美しさだけではなく、そこで、何が行われ、どのように利用されているかにあります。

プラザでの公演や各種イベントの情報については、本誌「WAVE TIMES」やイベントスケジュール「PLAS」、公式ホームページなどを通じて、タイムリーに発信していくので、ぜひご注目ください。

皆様のご来館、ご利用を心よりお待ちしています。

札幌市民交流プラザ
館長 石井 正治



探せる・見つかる・相談できる/
求人サイトなら
Work it 検索



血液の大切さ、
知っていますか？

【CO・OP 共済ニュース】

家族一人ひとりにあったコースを
お選びいただけます

CO・OP 共済

Platinum 85

Coca-Cola

~北の大地とともに~
北海道コカ・コーラボトリング株式会社
HOKKAIDO COCA-COLA BOTTLING CO., LTD. (コカ・コーラ指定会社)

東儀秀樹×古澤巖
xcoba コンサートツアーファイナル
FINAL TOUR

55→60 新たな旅へ。
さあ、はばたけ、音楽大飛行！

2019年 12月6日(金)
開演 18:30 [開場 18:00]
札幌文化芸術劇場 hitaru
全席指定(税込)※未就学児入場不可
S席 8,000円 A席 7,000円 B席 6,000円

ご購入
お問い合わせ 道新プレイガイド TEL:0570-00-3871
営業時間 10:00~18:00(日曜定休)

病院
札幌田中病院 334床
札幌緑誠病院 342床
札幌宮の沢病院 355床

介護
介護療養型老人保健施設 博友会 127床
特別養護老人ホーム 愛輪園 90床
介護老人保健施設 愛の里 100床
ケアハウス ホワイトキャッスル 100床

TANAKA MEDICAL GROUP
大きな輪であなたを支えます
笑顔絶やさず。優しさ忘れず。
タナカメディカルグループ
www.tanakamedical.net

住まい サービス付き高齢者向け住宅
ライフコート宮の沢 183戸
ライフコート西野 82戸
ライフコート手稻 81戸
ライフコート手稻西 178戸
ライフコートガーデン南館 181戸
ライフコートガーデン東館 180戸
ライフコート西宮の沢 180戸
ライフコートステラ 51戸

安全と豊かな「カーライフスタイル」をトータル・サポートいたします。

Hokkaido
BUBU
IMPORT CAR DEALERS
MID

株式会社 北海道ブブ <https://bubu-iss.com>

ホテルモントレで
異国情緒を味わう
まるで異国に訪れたようなヨーロッパ
ティストの館内で優雅なひとときを
お過ごしください。

ふぐ・すっぽん・はも 料理
父太郎
予約・お問い合わせ TEL:011-513-3727 予約制
住所/札幌市中央区南4条西3丁目
第3グリーンビル4階
営業時間/17:00~23:00 定休日/日曜・祝祭日

旬菜旬魚 うたげ
美術品を鑑賞しながら
旬の料理に舌鼓
予約・お問い合わせ TEL:011-552-7888
住所/札幌市中央区南4条西2丁目
ホシビル8階
営業時間/17:00~23:00 定休日/日曜・祝祭日

TAIYO GROUP <http://www.taiyogroup.jp/>

RENSEIKAI GROUP
にはワケがある。
「伸びる」「できる」
個別指導「3.14」
可能性は無限

冠婚葬祭
あいプラン
会員募集中!
つみたててる?
お問い合わせ・お申し込みは
●お客様相談センター
TEL:0120-335-924

MORIHICO.
Coffee & Something

北海道ミルククッキー
札幌農學校
KINOTOYA

北海道大学認定

チラシャクーポンが
スマートフォンに届く!
丸井今井 札幌三越 **LINE**

ご登録は
コチラ

marui imai **MITSUKOSHI**

おかげさまで、東急百貨店は創業85周年。
hug everyone.
さっぽろ東急
TOKYU
TEL060-8619 札幌市中央区北4条西2丁目 TEL011-212-2211(代表) www.tokyudept.co.jp/sapporo
営業時間:10時~20時 (10階レストラン街[ダイニング ダイニング]11時~22時30分 ※一部店舗は除く)

JAPAN AIRLINES
JAL国内線 Wi-Fi無料 1周年
詳しくは www.jal.co.jp/dom/wifi_free/

伊藤組土建株式会社
代表取締役社長 玉木 勝美
札幌市中央区北4条西4丁目1番地 TEL 011(241)8477

誠実の一路を開拓者精神で貫く
岩倉建設株式会社

富士メガネ

HAC
HOKKAIDO AIR SYSTEM

岩田地崎建設株式会社
代表取締役社長 岩田圭剛
本社/札幌市中央区北2条東17丁目2番地
URL <http://www.iwata-gr.co.jp>

医療法人社団 愛育会
大通り矯正歯科
www.odori-kyousei.com

北海道科学大学
北海道科学大学短期大学部
+Professional

パートフルネットワーク
北海道中央バス

ボルボ・カー 札幌

学校法人
札幌大谷学園
札幌大谷大学 札幌大谷高等学校
札幌大谷大学短期大学部 札幌大谷中学校
札幌大谷大学附属幼稚園 札幌大谷学園附属音楽教室

北海道 てんき保安協会

丸彦渡辺建設株式会社
代表取締役社長 藤城英樹
札幌市豊平区豊平6条6丁目5番8号 TEL(011)811-8121

札幌市交通局
<http://www.city.sapporo.jp/st/>
hitaruにお越しの際は便利な地下鉄をご利用ください。

日本新三大夜景 札幌
もいわ山ロープウェイ MT.MOIWA ROPEWAY 札幌市中央区伏見5丁目3-7 TEL.011-561-8177
※営業時間等、詳細はお問い合わせください。

三井のリハウス

北海道のおいしさを、まっすぐ。
よつ葉

さっぽろ地下街 オーロラタウン■ポールタウン いくたび。 みつかる。

STOP!未成年飲酒・飲酒運転 サッポロビール株式会社
サッポロビール ONLY 北海道!
CLASSIC CLASSIC CLASSIC CLASSIC

札幌市民交流プラザメンバーズ
会員募集中

「札幌市民交流プラザメンバーズ」は、市民交流プラザにより親しんでいただくための会員組織です。

チケットの先行発売や公演情報の提供など、さまざまな特典をご用意しております。皆さまのご入会をお待ちしております。

<input type="checkbox"/> ウェブ WEB会員	年会費無料	<input checked="" type="checkbox"/> ダイレクトメール DM会員	年会費無料 (但し、送料・事務手数料1,000円/年度)
特典 メールマガジンの配信		特典 情報誌「WAVE TIMES」、 イベントスケジュール「PLAS」等の送付	
WEB会員・ DM会員に 共通の特典	◎主催公演のチケット先行発売 ◎リハーサル見学 ◎施設見学会	◎プラザ内のカフェ・レストランでの優待 ◎プラザ近隣のホテル・飲食店等での各種優待	https://sapporo-cp-members.jp/privilege

札幌市民交流プラザメンバーズ事務局
TEL.011-271-2345 (10:00~19:00、休館日を除く)
※札幌市民交流プラザはメンバーズ事務局業務を(株)道新文化事業社(道新ブレイガイド)に委託しています。
入会方法、規約など詳しくはWEBサイトをご覧ください ▶ <http://sapporo-cp-members.jp/>

ANA CROWNE PLAZA® SAPPORO

医療法人 明日葉会
札幌マタニティ
ウイメンズホスピタル

JB ジェイ・アール北海道バス

株式会社 **じょうてつ**

ANA Inspiration of JAPAN

大和証券
Daiwa Securities
札幌支店 電話 011-214-6111
〒060-8601 札幌市中央区大通西3丁目7番地
(北洋大通センター2階)